

かさま 社協だより

No.17



編集・発行 2012.3.30

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



リフレッシュ食事会（岩間）

撮影 横堀

も く じ

- ① 平成23年度支部社協活動研究集会 2
- ② 笠間市福祉施設協働事業連絡協議会 ～施設見学会の報告～ 3
やさしい家庭介護教室
- ③ 社協ってなあに？ 4～5
- ④ 支所だより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。



平成23年度 支部社協活動研究集会

去る3月4日、友部公民館において「よりよい活動をめざして」と題し、中央支部と大旭支部の活動報告が行われました。

地域の絆や思いやりの大切さを再認識した支部活動研究集会でした。



支えあう気持ちを
共有して

中央支部長 大塚 松寿

中央支部は、昭和54年5月に設立され平成23年度の会員数は1693戸です。

支部は22の行政区からなり区長は支部委員として積極的に事業に参加し活動しています。

◎高齢者福祉活動の推進

- ・配食サービスは、毎月第3金曜日に8班に分かれ、女性部が交代で調理し「むつみ会員」とともに配達している。
- ・しあわせサロンは、日光田母沢御用邸記念公園の散策と、そば打ち会食会を実施した。

・高齢者の親善交流会

60歳以上を対象にグラウンドゴルフと輪投げ大会を実施

◎地域交流活動

- ・福祉センター「たけのこ」との交流支援、友部養護学校の行事への参加協力、グリーンハウスともべ利用者の買物介助協力。

◎青少年への健全育成

各地区の三世代交流会は、



日光田母沢御用邸記念公園にて

4地区でバーベキューやもちつきなどが行われた。

・ふれあいレクリエーション(運動会)は、今年で10回を数えたが課題も多い。

・友部小放課後児童クラブの支援は夏休みに2回、東支部と一緒に子ども達と遊んだ。

◎広報活動

中央支部だより年3回発行

◎今後の課題

- (1)後継者の確保と育成の問題は、支部の存亡を左右する大切な課題です。
- (2)地域密着型活動の推進多くの人が参加してもらえ創意工夫が必要です。

「助けあい、思いやりのある
地域福祉づくり」を目指して

大旭支部長 小倉 秀男



大旭支部は、友部第二小学校区の26行政区、会員数1800戸を擁し、運営には、支部役員・支部委員(区長)など63人の方々が当たっております。更に、総務部門など4部門を設け事業を展開しております。

◎児童環境部門

- ・子ども会育成会代表者との懇談会の開催と支援
- ・児童の見守り活動
- ・60人の学校ボランティアの協力により

下校時の見守り活動を実施

・「友二小三世代ふれあいのつどい」の開催

・ボランティア70人の協力により

・竹馬・ペーゴマなど18種類の昔遊びなどを実施。

・友二小ふれあいクラブの開催



三世代交流

子どもが安心して過ごせる居場所づくりを月一回開催

・「地区三世代ふれあいのつどい」に対する支援

今年度は5地区の開催支援

◎高齢身障部門

- ・ひとり暮らし高齢者に対し月2回の配食を実施
- ・80歳以上の高齢者を招きふれあい食事を開催
- ・高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会の開催

◎広報部門

支部広報紙年3回発行

◎その他

- ・いばらき子どもヘルパー派遣事業への協力(詳しくは本号「支所だより」に掲載)

◎今後の展望

会員の相互研修とニーズに合った事業の展開と高齢化社会に対応した住みよい地域づくりの推進。更に未来を担う子ども達の健全な育成を手助けしてまいります。

笠間市福祉施設協働事業連絡協議会

施設見学会の報告

笠間市福祉施設協働事業連絡協議会では、市内にある保健・福祉施設と、施設利用者及び地域住民の相互理解を深め、地域福祉の向上を図ることを目的に活動しています。

この施設見学会では、住民の皆様は施設内の様子を見てもらい、施設や利用者への理解を深めてもらうために実施しています。23年度は、4日間に分けて実施し、合計60人の方にご参加いただきました。

※毎年8〜9月ごろに実施します。ご参加ください。

参加者からの声

- ・ 高齢者・障害者施設がこれほどあり、また利用者が多いのに驚きました。
- ・ 各施設の特徴を良く理解できました。各施設とも清潔な環境で良かったです。
- ・ 個人ではなかなか見学できないので良かったです。
- ・ 子ども（知的障害）のための参加でしたが、高齢者施設の明るさ、広さ、清潔さ、うらやましくなりました。こんな施設を子ども達のために造ってほしいと願います。

期日	見学施設	参加者
H23 8/22	矢戸苑（特別養護老人ホーム） シルバービレッジ（介護老人保健施設） グループホームあさがお（認知症対応型共同生活介護事業所） ケアレジデンス デイサービスセンターともべ（通所介護事業所）	13人
8/29	ケアハウスかさま（軽費老人ホーム） ヴィレッジかさま（特別養護老人ホーム） ケアホーム夢くらぶ（認知症対応型共同生活介護事業所） シルバーパークはこだ（介護付有料老人ホーム） 佐白の館（障害者支援施設）	19人
9/5	あたごナーシングビル（介護老人保健施設） ケアレジデンス デイサービスセンターいわま（通所介護事業所） グループホームれんぎょう（認知症対応型共同生活介護事業所） グリーンハウスともべ（通所介護事業所）	15人
9/12	地域活動センター「光」（障害者地域活動支援センター） 笠間シルバーケアセンター「パル」（介護老人保健施設） すみれ（介護老人保健施設） ニコニコハウス（障害者地域活動支援センター） 愛の里（障害者支援施設） かさまグリーンハウス（特別養護老人ホーム）	13人

施設についての設備、サービス内容、特長について、詳しい説明があり十分理解することができました。また職員の方々の介護のご苦労、利用者の方々の生活、リハビリ訓練の様子を見学でき、有意義な一日を過ごすことができました。

自分の住む街にどんな施設があり、どんな特徴があるのか、将来に備えて見ておきたいと思いました。

従来のイメージとは違い、施設に対して明るい希望が持てたような気がします。職員や入所者の皆様の顔を自分の目で見たことは、たいへん勉強になりました。

外部からでは分からない、施設内の様子を多少知ることができ、良い経験をさせていただきました。書類などで説明を受けても、理解することはなかなか難しく、実際に見ることの大切さを実感いたしました。現場で働く方々の様子を直接知ることができたのも良かったです。

特徴あるサービス内容を紹介見学させていただきました。



最新の福祉機器を体験して

午後の部は、福祉用具業者による福祉機器の説明があり、最新の介護機器を実際に見て

と思います。

一日目は、テンドーケアジャパン國谷千春先生より介護をする上での心構えや高齢者の特徴を分かりやすくお話いただきました。続いて、ボランティアのご協力を得て、高齢者疑似体験を行い、不自由な生活を身をもって体験できた

家族介護において役立つ介護の知識・技術を学ぶ「やさしい家庭介護教室」が二日間にわたり友部社会福祉会館で開催され、延べ31人が受講しました。

やさしい 家庭介護教室

触って、受講生は興味津々の様子でした。続いて、社協ヘルパーにより、寝たきりの方への基本的な介護技術を学びました。



高齢者が食べやすい料理

二日目は、管理栄養士の小澤先生指導のもと、「高齢者向けの食事学」として調理実習を行い、味付けや調理のポイントを学びました。

午後は介護体験者である篠田美千代さんから体験談を聞き、教科書からでは学ぶことができない話に感銘を受けていました。

最後は訪問看護師の箱守千春さんから「家庭で起こりやすい病気」についての講義があり、発熱、床ずれ、認知症などの予防策や対処法のお話をいただきました。これからの介護技術に役立てていただきたいと思います。

なにあに？

No.10

「社協ってなあに？」のコーナーでは、社協の事業内容をわかりやすくお伝えしてまいりました。10回目を迎える本号で一旦終了させていただきます。

今回は友部支所と岩間支所に設けられている地域活動支援事業の作業所の利用者の様子をお知らせします。

社会の一員として人として輝いてほしいと、心から願う職員の方々の温かい見守りの気持ちも伝えることができればうれしく思います。

(関・久保田)

地域活動支援事業



つるし雛の前でハイポーズ

市内には、友部保健センターの中に「たけのこ」、岩間保健センターに「あおぞら」と2つの作業所が開設されています。それぞれの作業所では、利用者の能力にあった仕事を選んで訓練を行っている。また、生活訓練の一助として日常生活の中で役立ち、うるおいを与えるものとして、お料理や生け花なども指導者と共楽しんだりしています。

他の施設の方々と交流をしたりカラオケで自慢の声を聞かせあうレクリエーション

も、自立をうながし、社会参加を目指す大切な指導です。

友部支所

「たけのこ」は昭和60年に友部保健センター内に設けられ、現在身体障害者手帳または療育手帳を持っている26歳から55歳までの18人が通所し、指導員4人で運営しています。各種の訓練や余暇活動を通じて障がい者の自立の促進と生きがいのある生活を送ることを目指しております。

そのひとつに生活訓練があり、日直・清掃当番・調理実



珍味箱詰作業

習やクッキー作り・宿泊学習など、基本となる身の回りのことが一人で出来るよう訓練しています。また、専門の先生による習字・生け花・茶道・陶芸教室・ミュージックケア等を行っています。

作業訓練は、個性・能力に応じた作業を選択し、働く意欲や技能が身に付くようにしています。(珍味・ボールペンなどの梱装箱詰作業・空缶つぶし等)その他に、春と秋の遠足・運動会・作品展・音楽祭等にも積極的に参加し、充実した毎日が過ごせるよう工夫しているところです。

利用者の声

- ・お友達と居られてたのしい。
- ・皆の役に立っている事がうれしい。
- ・調理実習がたのしい。

保護者の声

学校卒業後の選択肢として以前は、施設入所が在宅のどちらかでした。子どもを自分の家から日中通所させ、地域の中で生活させる普通のこと私が私たちの願ひでした。子どもが主張できない分、親と地域の方々の協力によりできた施設です。家庭的でお互いを思いやる心を持ち、訓練・作業・レクリエーションなどバランスよく計画されています。何より本人が「通所がとても楽しい」「この言葉が親の私として嬉しいです。」

我が子が通所し始め13年。未だに泣くことを得意としている子ですので、先生方にはお手数をおかけしておりますが、「たけのこ大好き」と、毎日元気に通っております。

習字・生け花・陶芸など、たくさんさんのボランティアの方々との交流も深く、温かい見守りに、日々、感謝いたしております。

親の高齢化に伴い、いつまで送迎が出来るかなど、今後の課題は多々ありますが、今日も笑顔で、子ども達を迎えに行きたいと思えます。



“社協”って

岩間支所

「あおぞら」は平成元年に岩間保健センター内に設けられ、現在は9人の利用があります。

利用者は自力で通所します。なかには30分以上かけて徒歩や自転車でも来る方もおり、雨が降っても風が吹いても、時には雪が降ってもほとんど休むことなく毎日一生懸命通ってきます。

主な作業内容としてはフルーツキャップ（果物保護ネット）を折り、袋詰めするものが9割を占め、その他に電化製品の取扱説明書を折ったり、金魚すくい用ビニール袋の紐通しなど、季節ごとに入る内職的作業を行っています。

作業以外にも月1回ミュージックケア（音楽療法）や調理実習、3カ月ごとにムーブメント（軽い運動）を専門の先生をお招きして行います。

その他にも月2回いきがいサービ事業へ参加し地域のお年寄りとの交流を図ったり、福祉センターいわまの一般開放日に合わせ第3木曜日のみ、お客様へコーヒーを提



販売しています!!

供させていただいています。コーヒーは豆を挽き一杯ずつ丁寧に入れます。コーヒーを提供することが決まった際、地元岩間地区に住む陶芸家数名へお願いし、焼物の器を寄附していただくことができました。その器でお客様の席へ利用者が運びます。障がいがあるため「いらつしやいませ」「お待ちせしました」「ありがとうございます」の言葉が出なかつたり、上手に配膳が出来ません。しかしお客様より温かい声を掛けていただき、それに対し利用者は笑顔でお応えします。

4〜5年前には4人続けて就職することができ、「あおぞら」を巣立っていききました。最近では企業の障がい者受け入れが難しく、良い話しが舞い込んできません。しかしそのような話がいつあっても良いよう、毎日訓練し頑張っています。

「あおぞら」を巣立って行くのはちよつと寂しい気もしますが、利用者の皆さんがステップアップし、社会で輝いてもらえることが職員たちの何よりの願いです。

利用者の声

- ・みんなと一緒に仕事ができることが楽しいです。
- ・友達に会えるのが嬉しい。
- ・フルーツキャップ作業がとても楽しいです。



笑顔でコーヒーを運ぶ通所生

ちよつといい話

食事は野菜から

食事の時、まず野菜から食べることで「糖尿病、動脈硬化、老化の防止にもつながる」ということをご存知ですか？

食べる順番を、①野菜、②タンパク質、③炭水化物の順にゆつくり食べるのです。

このような順番で食べると、食後の血糖値の上昇が抑えられ、それに伴いインスリンの分泌の上昇が抑えられ、満の予防につながります。インスリンには、血中の余分な糖を脂肪に合成する作用もあるそうです。

炭水化物（ごはん・パン）は食後血糖値を上げますが野菜の食物繊維を先に食べることで、血糖値は急激に上がらなくなり、その結果、同じ食事内容でも、血糖値とインスリン値が抑えられます。

この食べ方はダイエット効果に加え、生活習慣病の予防にもつながることです。せっかくな順番を守っても早食いをすると効果は期待できません。食物繊維より先に炭水化物が小腸に届いたら効果はなく、最低20分以上かけて食事をすることが大切です。

（生天目）

だより



本号も各支部の様々な活動を紹介します。

岩間支所からは手作り弁当で話しが弾む「リフレッシュ食事会」と苦勞して立ち上げた「土師地区社協」とその活動報告。友部支所からは「いばらき子どもヘルパー派遣事業」モデル指定の友部第二小学校4年生の活動報告。笠間支所からは震災地へメッセージを描いた「土のう袋で災害支援を」紹介。各支部の熱意あふれる活動状況が伝わってきます。

岩間支所

「リフレッシュ食事会」

赤い羽根
共同募金
話が弾み
笑顔が
あふれる

1月10日(火)、「福祉センターいわま」において、「リフレッシュ食事会」が行われました。これは70歳以上のお年寄りを対象に、たくさんさんのボランティアの方々と作業所「あおぞら」の訓練生そして、社協の職員が役割分担して実施したものです。今回は30人ほどのお年寄りの参加でしたが、協力者を含めると75人ほどの食事会となりました。

バスやワゴン車で来られたお年寄りは、簡単なセレモニーの後、ボランティアから抹茶の接待を受けました。お菓子なども添えられていて、和やかなひとときです。ゆつくりとお風呂に入る方もいました。



が並べられました。心のこもったランチコンマツトやお箸入れ、箸置きが置かれ、果物やお饅頭も付いています。挨拶の後、みんなでの会食。お話が弾み、笑顔があふれます。お年寄りの方は食欲旺盛で、最後まで残さずに食べられました。

おいしい昼食の後には、余興の時間。オカリナの演奏に合わせてみんなで合唱した後、のど自慢のカラオケと続きました。

楽しいときは流れ、手作りのティッシュ入れや巾着袋をお土産に帰途に就きました。それぞれ次回の再会を楽しみにして・・・

(高瀬)

地域のつながりの輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりを目指して

土師地区社会福祉協議会
運営委員長

鬼澤 正

土師地区は、旧岩間町の東部に位置し、桜川と潤沼川との合流する地点の水田地帯と畑作地帯が混在し、国道355岩間バイパスの全線開通により交通量が増大している地域です。

地区社協発足までの経緯は、まず平成21年3月15日の地区定例総会で「社協ってなあに？」の資料をもとに概要の説明をうけました。さらに地区委員会では何度かの討議を重ねました。

その後、規約作成、組織作り、地域の年間行事などを整理して事業計画案に反映し、再度平成23年3月27日の地区定例総会において提案して設立決議をしました。

そして、7月3日に第1回運営委員会を開催し「土師地区社会福祉協議会」が発足しました。



ました。

本年度の事業は、8月6・7日の「夏祭り子ども神輿渡御・盆踊り大会」、9月19日の「地区敬老祝賀会」、12月24日岩間消防署員に講師をお願いしての「防災防火講演会」を多数の参加により実施しました。そのほかには「環境活動」なども年間行事として取り組み中です。

今後も地域のみなさまと共につながりの輪を広げ、誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりを目指していきたいと思っております。



支所

友部支所

「子ども

ヘルパー」を、

体験しました

大旭支部

吉田 正次

県が平成22年度から進めている、高齢者スマイルアップ事業として「いばらき子どもヘルパー派遣事業」の指定を受けました。県の指定を受けた笠間市社会福祉協議会が実施主体となり、友部第二小学校の4年生が夏・冬・春休みを利用して、高齢者宅を訪ね、話し相手やお手伝いをしています。3〜4人の児童と、先生・社協職員・民生委員がペアになっての活動ですが、今回はその一端を紹介いたします。

昨年7月、堀江惟之君・小島優香さん・村上碧さんの3人が、足立一様のお宅を訪問しました。子どもヘルパーの皆さんはお話の聞き役や、軽快な歌とリコーダーの演奏で、ご夫妻は大層喜んでいただきました。



また遊びにおいて

足立様からは、

①星野富弘さんの生き方に励ましを受けたこと、②輪ゴムをぐるぐる巻いた筆記用具のことなどの、リハビリテーションで使った経験談をたくさんうかがいました。

児童と高齢者の世代交流は、和やかなうちに終わり、元気な挨拶でお別れしました。その後、4年生の皆さんは「クリスマスカードや年賀状でお便り活動が続けています」とのことでした。

笠間支所

ミニデイサービス

「土のう袋で

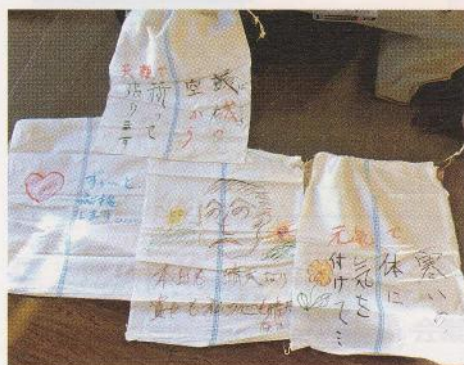
災害支援を」



折りを含めて...

3・11の震災から早一年が経ちましたが、被災地では、まだまだ厳しい状況であり、様々な復興支援も継続的に行われております。

社協ミニデイサービス利用者の方々も何か復興支援ができないか考えておりました。そんな中、石塚観光の復興支援プロジェクトの中に、小学生が土のう袋にイラストやメッセージを描き復興支援を



していることを知り、さっそく利用者の方々に相談したところ、「是非協力したい」との声が上がり、社協ミニデイサービスでの復興支援が始まりました。

利用者の方々が一日でも早く復興してほしいと気持ちを込めた土のう袋には、「茨城から復興を祈っております」「がんばっぺ東北」「寒さに負けないで」など応援メッセージや町が明るくなるようにヒマワリやチューリップの絵を描きました。

このあたたかい気持ちがかもった土のう袋は、毎週、東北に支援に行く石塚観光のボランティアバスツアーの折に被災地へ届けられます。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成23年11月1日～平成24年2月29日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済切手

愛の里、佐白の館、橋本 由合子
小規模多機能型居宅介護事業所 花の郷
宮印店、松本 正、楠木 ふく
笠間市立箱田小学校、坪山 和子、
(有)永山スポーツ笠間、岩間第一幼稚園

かぼちゃ多数

野口 宗雄

ネギ5kg、ほうれん草3kg、梅干し5kg

美留町 文男

紙おむつ

桜井 良子

エコキャップ多数

いわみ保育園、ファミリーマート友部東平店、
めぐみ保育園、池野辺子供会、愛の里
笠間市立友部小学校、くるす保育所、
佐藤 天音、荒木 博行、三村 義一
すみれ幼稚園、不二製油㈱関東工場、
とちべ保育所、茨城県立友部養護学校、
斎藤かずき・そら、土師地区社協

ブルタブ多数、エコキャップ多
数、使用済切手、タオル、バスタ
オル、食器類、ボールペン他34
本、台所用品、手作りジャム

匿 名

エコキャップ、切手多数

船橋 成子

エコキャップ、使用済切手多数

てらざき保育所

エコキャップ、ブルタブ

おしの保育園、小滝 誠一

ブルタブ多数

笠間市立穴戸小学校、愛の里、
笠間市立東小学校、佐白の館

エコキャップ多数、食器他

さくら幼稚園PTA

ボトルキャップ多数

てらざき保育所

アルミ缶、ブルタブ

山田 こう

使用済テレフォンカード多数

茨城県信用組合 笠間支店、
荒木 博行

テレフォンカード8枚

(有)永山スポーツ笠間

未使用はがき多数、未使用切手多数

ありんこ

おしほり24枚

深作 志奈

ジョイントマット

松田 鈴子

車イス8台

水戸ヤクルト販売㈱

大根多数

美留町 文男、岡村 浩

切干大根多数

長谷川 かつ子

大根35kg、ヤーコン10kg、人参7kg、冬瓜30kg、蕪3kg、小松菜3kg

小瀬 美恵子

サラダ大根60kg

岡村 浩

金 銭

スナック オクターヴ

¥50,000

茨城中央農業協同組合 花き部会

¥20,000

笠間市職員組合

¥50,000

鈴木 誠

¥70,000

友部読書会連合会

¥20,000

笠間豚盛り上げ隊(弁天町イベント豚串焼売上金)

¥10,000

宮本 伸子

¥10,000

笠間語り部の会

¥4,000

岩間ライオンズクラブ

¥100,000

J A 茨城中央チャリティーゴルフ大会

¥79,876

鈴木 悦子

¥3,000

笠間根っこ会

¥11,100

笠間市ボランティア連絡協議会友部支部

¥50,000

笠間高等学校 美術科

¥58,120

金澤 かつ子

¥50,000

バザー夢工房

¥100,000

菊地 源六

¥50,000

バルともべ会員部会

¥991,767

常井 鞠代

¥3,576

笠間市高齢者クラブ連合会岩間支部女性委員会

¥30,000

笠間市ダンススポーツ部

¥7,000

匿 名 10件

¥91,856

平成23年度共同募金報告

赤い羽根共同募金

11,551,981円

歳末たすけあい募金

9,621,676円



お寄せいただきました募金は、地域福祉を支える重要な財源であり、多様な福祉活動に活用させていただきます。

厳寒に耐え草花緑まぶしい今日。私たち人間も大震災、原発事故という厳しい現実に耐える中、子どもたちのボランティア参加という朗報がとても微笑ましく、まるで春の訪れのようにです。ボランティア後継者が危ぶまれる中、こういった体験が未来の人材育成に繋がる一歩です。若い芽を大切に育て、枝葉を沢山茂らせていけるようにサポートし、一人でも多くの子どもたちが参加していくことが大切な時だと思います。

編集後記

平成24年度 心配ごと相談所開設日程表

日常のお困りごとなどご相談下さい(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00

場所	笠間支所 (毎週火曜日)	友部支所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
4月	笠間保健サービスセンター 3日・10日・17日・24日	友部社会福祉会館 4日・11日・18日・25日	岩間保健センター 5日・12日・19日・26日
5月	1日・8日・15日・22日・29日	2日・9日・23日・30日	10日・17日・24日・31日
6月	5日・12日・19日・26日	6日・12日・20日・27日	7日・14日・21日・28日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

友部支所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889